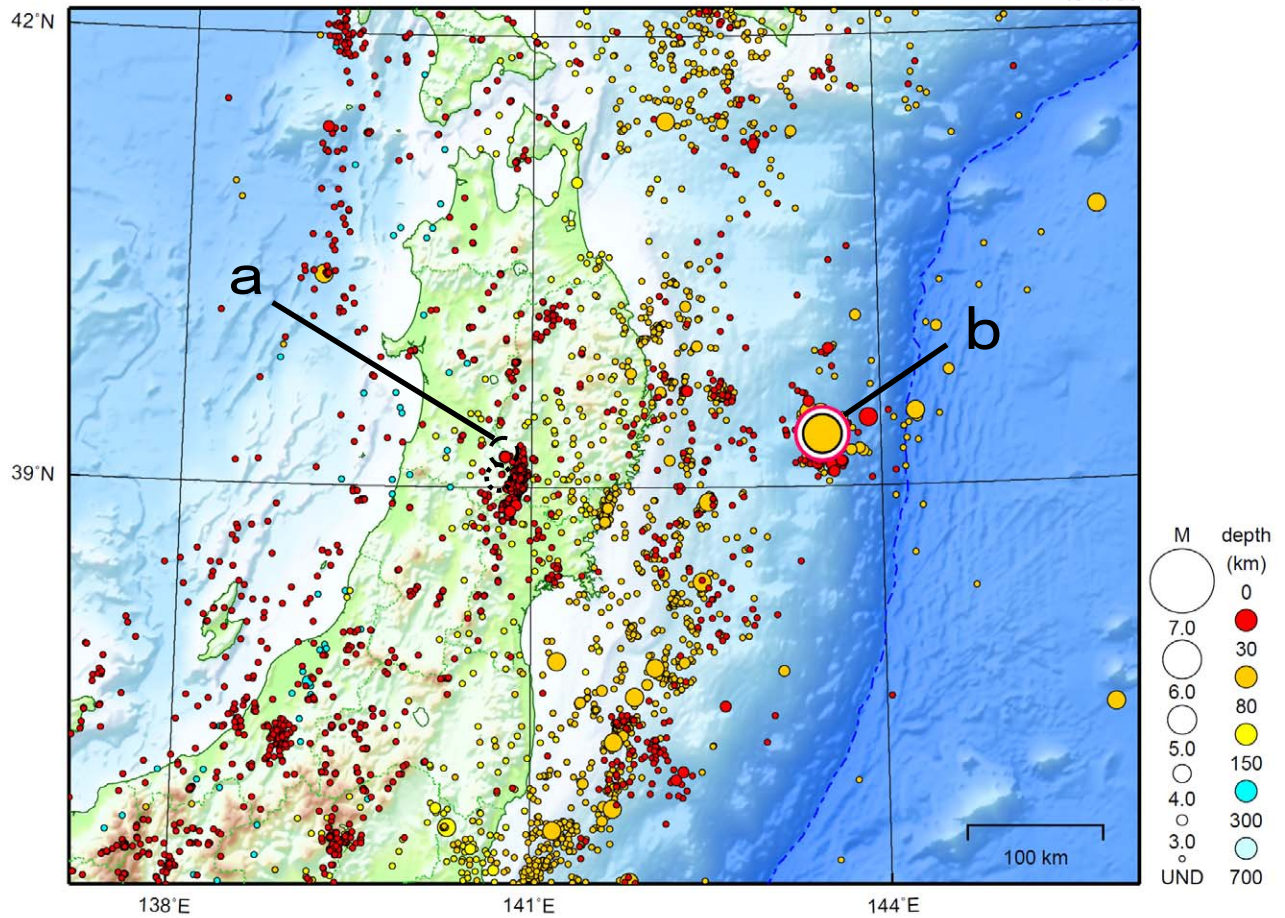


東北地方

2010/08/01 00:00 ~ 2010/08/31 24:00

N=4751



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

a) 岩手・秋田県境付近で、7月31日頃から続いていたやや活発な地震活動は収まってきている。

b) 8月10日に三陸沖で M6.3 の地震（最大震度4）が発生した。

（上記期間外）

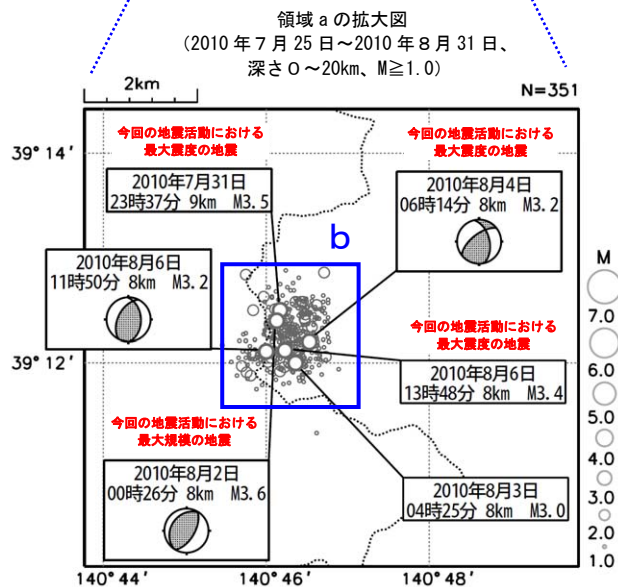
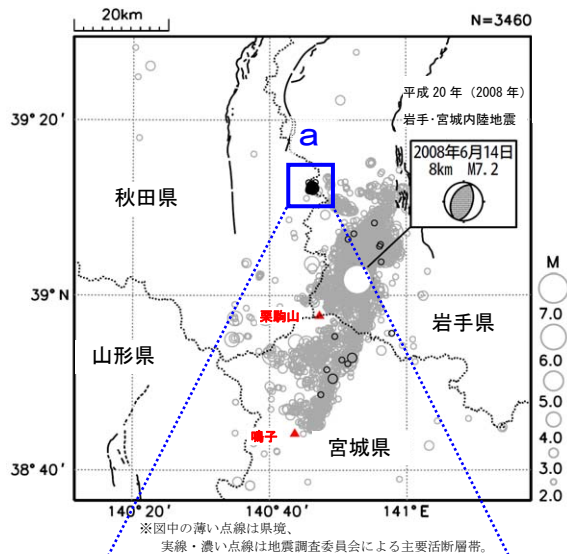
9月1日に宮城県沖で M5.0 の地震（最大震度3）が発生した。

〔上述の地震は M6.0 以上または最大震度4以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度3以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。〕

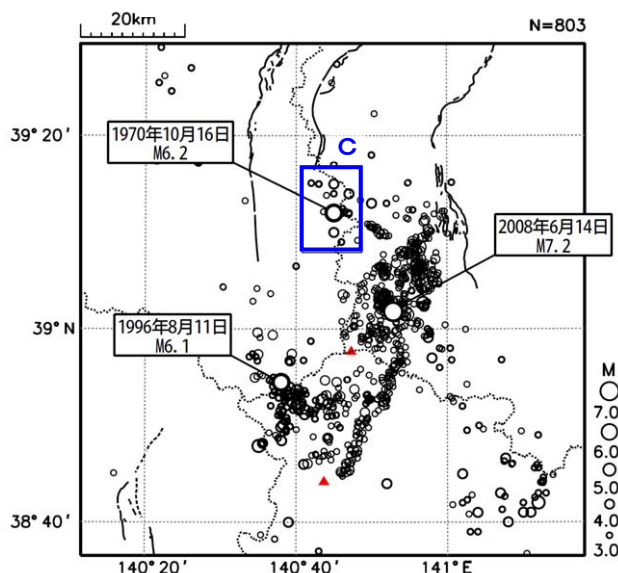
気象庁・文部科学省

岩手・秋田県境付近の地震活動

震央分布図（2008年6月1日～2010年8月31日、
深さ0～20km、 $M \geq 2.0$ ）
2010年7月25日以降の地震を濃く表示



震央分布図（1970年1月1日～2010年8月31日
深さ0～20km、 $M \geq 3.0$ ）



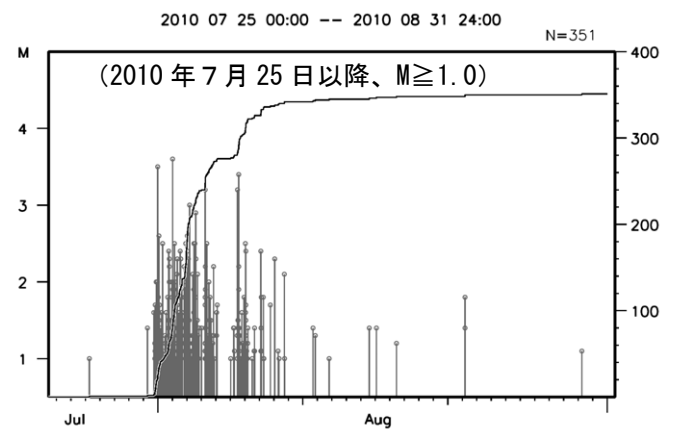
※図中の薄い点線は県境、
実線・濃い点線は地震調査委員会による主要活断層帯。

2010年7月31日頃から岩手県と秋田県の県境付近でやや活発な地震の活動が見られた。

今回の活動では震度1以上を観測した地震が8回発生し、最大震度は2であった。最大震度2を観測した地震は、7月31日23時37分（ $M 3.5$ ）の地震、8月4日06時14分（ $M 3.2$ ）の地震、8月6日13時48分の（ $M 3.4$ ）の地震で、計3回発生した。今回の活動における最大の地震は8月2日の $M 3.6$ の地震（最大震度1）である。

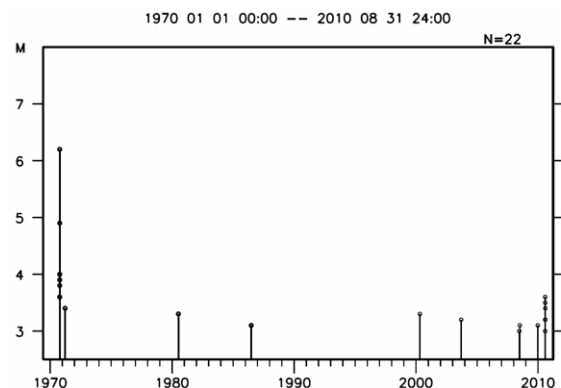
活動は収まってきている（8月31日現在）。

領域b内の地震活動経過図



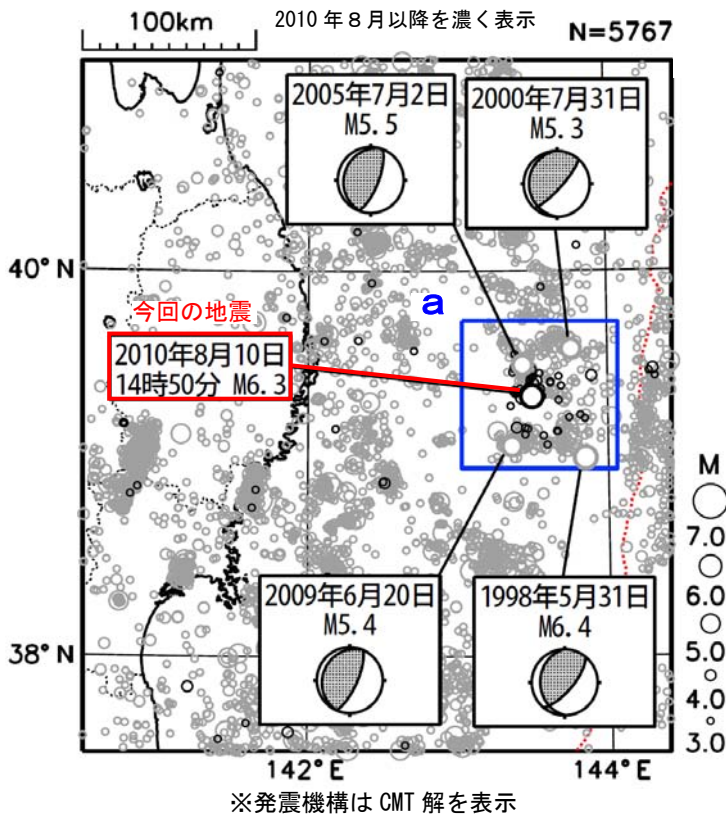
1970年1月以降の活動を見ると、今回の地震活動の付近（領域c）では、1970年10月16日に $M 6.2$ の地震（最大震度5）が発生している。この地震により、負傷者6人、住家被害466棟の被害が生じた（「最新版 日本被害地震総覧」による）。

領域c内の地震活動経過図



8月10日 三陸沖の地震

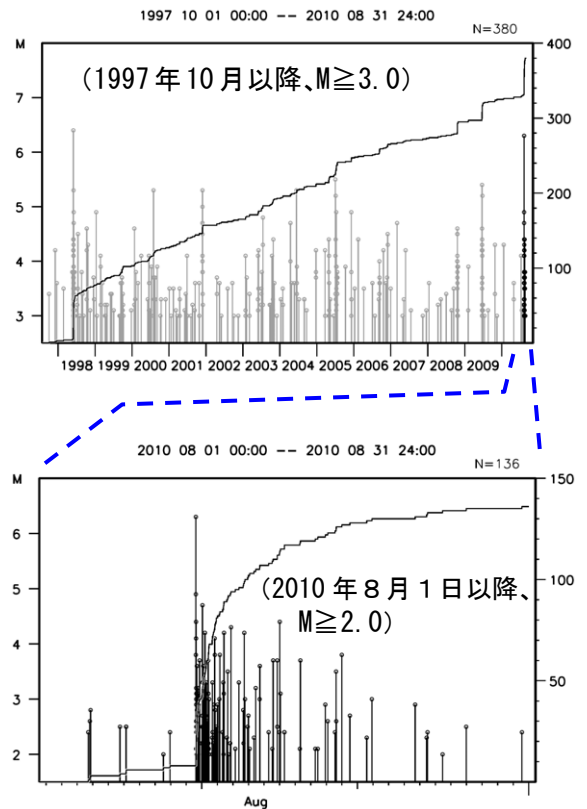
震央分布図 (1997年10月以降、 $M \geq 3.0$ 、深さ0~120km)



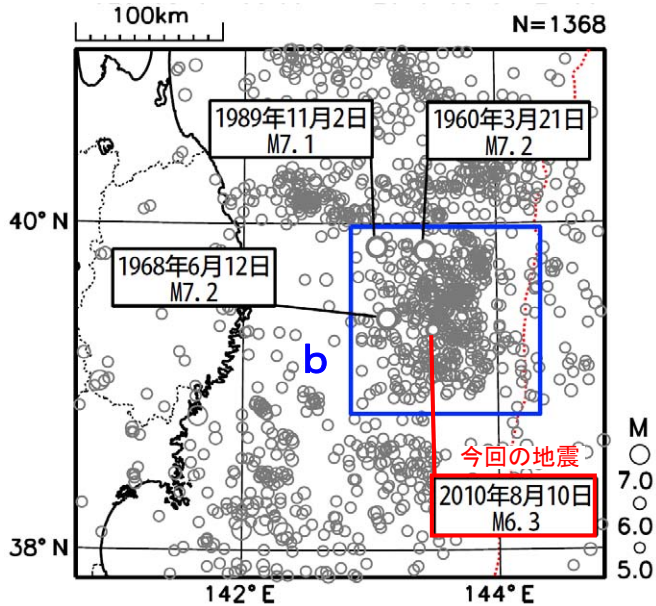
2010年8月10日14時50分に三陸沖でM6.3の地震（最大震度4）が発生した。余震活動は徐々に収まってきている。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域a）では、M5.0以上の地震が度々発生している。

領域a内の地震活動経過図及び回数積算図



震央分布図 (1923年8月以降、深さ0~90km、 $M \geq 5.0$)



1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域b）ではM7.0以上の地震が時々発生している。また、この領域はM6.0を超える規模の地震が複数発生するまとまった地震活動が見られる。特に、1989年と1992年にはM6.0を超える規模の地震がそれぞれ6回発生するとともに、数ヶ月間地震が多発するという地震活動があった。前者の地震活動で最大の地震はM7.1（最大震度4）、後者の最大はM6.9（最大震度3）で、共に津波を伴った。

